



価値向上のために

品質向上への取り組み

グローバル競争で求められる品質の透明性

イノアックグループでは、お客様に安心・安全にご使用いただける製品の品質を保証し、ご満足いただける商品やサービスを提供するために、ISO9001を基本とした総合的なマネジメントシステムを導入し、お客様と連携して品質改善に取り組んでいます。近年では、品質不正問題が大きな社会問題となり、日本のモノづくりに対する信頼が揺らぐ中、世界的な流れとして製品開発・製造過程の透明性と責任を明確化する動きが強まっています。

基本方針

すべてのお客様を満足させる品質

- 重要品質不具合0件
- 品質の透明性の確保

取り組み事例

1. 重大不具合の未然防止活動

① 重要品質部品監査

社会的信用の失墜により会社の存続が危ぶまれるような、重大品質不具合を未然に防ぐことを目的として国内外の生産拠点に対して監査指導を実施して品質の向上に努めています。

② 新製品品質審査

新技術・新材料・新プロセス・新用途のいずれかに該当する製品に対する審査を実施して重大品質不具合の未然防止に努めています。

審査メンバー

社長、グローバル技術開発本部、グローバル生産管理本部、法務部、知財、グローバル品質保証本部、担当事業部責任者
製品の技術責任者、品証担当、営業担当

審査内容

材質・製品特性・製品性能・構造・外観・類似品比較
製品安全性・製造の安全性・品質リスク

2. 「QC・改善世界大会」の開催

イノアックでは、品質管理活動を自発的に小グループで行うQC(クオリティ・コントロール)サークル活動を1965年頃から行っています。この活動を世界へ広め、イノアックグループ全体の活動を共有するため1985年から「QC・改善世界大会」をグローバル規模で開催しています。現在では、イノアックグループ世界12カ国96拠点にてサークル活動を行っており、各国の予選会を通過した優秀なチームが「QC・改善世界大会」へ参加、その活動を発表し共有しています。この大会を通しイノアックグループの生産・技術・品質管理を水平展開していくことで、品質改善だけでなくグループの結束力や総合力を向上させています。

QCサークル活動の理念

- ・人間の能力を発揮し、無限大の可能性を引き出す
- ・人間性を尊重して、生きがいのある明るい職場をつくる
- ・企業の体質改善・発展に寄与する



実行員VOICE

QCサークル活動は、人材育成や職場の活性化の双方に効果がある活動です。そこで培ったスキルで、現場レベルでの改善のPDCAを回し、より高い改善を目指します。QC・改善世界大会は、国内・海外ブロックで厳しい予選を勝ち抜いて来た、優秀な改善事例を参加者全員に理解を深めていただくべく、3カ国(日・英・中)同時通訳を実施しています。それにより、参加者同士の情報交換などで、お互いに研鑽できる大会にしています。